



坑内でスライドによる説明

**国道403号
新矢越トンネル（仮称）
現場見学会を実施しました**

8月30日に筑北村、麻績村の住民を対象としたトンネル坑内の現場見学会を実施したところ、悪天候にもかかわらず両村合わせて317名の方の参加をいただきました。

トンネル坑内では、掘削で使用する機械や、吹付方法の説明を受けながら切羽先端まで約500mを歩き、掘削現場の貴重な体験ができたのではないのでしょうか。



切羽先端での説明

トンネルは平成26年10月に安曇野市側より掘削が始まり、見学会当日までに709m掘り進み、平成27年12月には貫通する見込みです。

トンネルと周辺の道路改良完成まで、引き続き通行規制や工事車両の通行等ご迷惑をお掛けしますが、ご理解、ご協力をお願いします。

見学会実施主体
戸田・吉川・守谷建設共同
企業体
長野県松本建設事務所
筑北村、麻績村

**『夏まつり筑北』が
開催されました**

筑北村夏まつり実行委員会主催の『夏まつり筑北』が7月25日（土）坂井小学校校庭で開催されました。

今年のステージは坂井っ子太鼓の演奏から始まり、四阿屋こだま太鼓、ニュージエンターズの演奏などで盛り上がりました。体育館では聖南・筑北中学校の吹奏楽部と筑北・坂井小学校の児童によるミニコンサートが行われ、この日を心待ちにしていた子どもたちを中心に大勢の人が会場に訪れ楽しみました。また、露店も多く会場に活気を与え、賑わいをみせました。

祭りのフィナーレでは音楽とシンクロして打ち上げられる花火に大きな歓声と拍手が沸き起こり大好評でした。目の前に広がる幻想的な空間と美しさは観る人たちの心をとらえ、忘れない夏の思い出となったことでしょう。

今年も盛況だった夏まつり、開催にあたりご尽力いただいた実行委員をはじめ、ご協力いた



だいたすべての皆さまに感謝します。本当にありがとうございました。

**筑北村合併10周年記念式典
を開催します**

村では、旧3村が合併して「筑北村」となつてから10年が経過することを記念して、式典を開催します。

式典終了後には、7月に開庁した本庁舎（本城庁舎）の内覧会や物産展も予定しています。

多くの皆さまのご来場をお待ちしています。

○日時
平成27年10月10日（土）
午前10時から

○場所
本城農村環境改善センター
（本庁舎の隣）
※駐車場は、日本ウエルネス高校（旧本城小学校）校庭

○式典の内容
村長式辞
行政功労者等感謝状贈呈
来賓祝辞
合併10周年記念映像上映
聖南中学校吹奏楽部の演奏等

○式典終了後

**筑北村人口ビジョン・総合戦略策定に関するアンケートへ
のご協力をお願いします**

12時ごろから15時ごろまで
・本庁舎（本城庁舎）内覧会
・物産展（陸前高田市 等）
詳しくは、総務課までお問い合わせください。

村では、将来にわたる豊かな暮らしと魅力あるむらづくりの実現を図り、人口減少を克服していくため、筑北村人口ビジョン・総合戦略を策定中です。

策定にあたり、みなさまのご意見をお聞きするため、村にお住まいの方や村から転出された方の中から無作為に抽出した方々にアンケートを郵送しました。

村の未来のため、ぜひご協力いただきますようお願いいたします。

なお、アンケートの回答期限は9月25日（金）です。

詳しくは、総務課までお問い合わせください。



薬草の見学会を開催しました

村で進めている薬草で健康長寿の村づくり事業の二環として上田市菅平にあります長野県薬草栽培試験地見学会を7月21日、8月20日にそれぞれ開催しました。

長野県薬草栽培試験地は長野県が広大な敷地を利用して、気候・環境に適した薬草の栽培技術を研究しているところであり、薬草のほかにもハーブや薬木なども栽培しております。

見学会では講師として長野県薬草生産振興組合の牧幸男先生に薬草栽培試験地の概要、身近な薬草の活用方法の講義をして頂き、乾燥させた薬草（標本）も実際に触って、食べてみたりして薬草を学びました。



また、試験地にあります薬草見本園では実際に栽培されている薬草の栽培方法や効能などわかりやすく解説していただきました。

それぞれの会に約20名の方が参加して、薬草について楽しく学べる良い機会となりました。

村では第3回目の見学会を9月29日（火）に計画しております。先着30名まで受け付けておりますので、詳しい内容は担当課までお問い合わせください。

筑北村産業課（農林係）
電話 66・2111

マイナンバー（個人番号）制度が始まります

その2

●マイナンバー（個人番号）の通知

マイナンバーは、住民票を有する日本国民及び中長期在留者や特別永住者などの外国人に対して付される12桁の番号です。2015年10月から住民登録されている住所あてにマイナンバーが記載された「通知カード」を郵送します。

なお、マイナンバーは一生使うものであり、通知カードの紛失等によりマイナンバーが漏えいして不正に使われる恐れがある場合を除いて、変更されませんので、大切に扱うようにしてください。

●マイナンバー（個人番号）の利用場面

マイナンバーは、国の行政機関や地方公共団体などにおいて、社会保障、税、災害対策の分野のうち、法律又は条例で定められたもののみ利用されます。給与、確定申告などの税の手続な

どで、申請書等にマイナンバーの記載を求められる予定です。

また、税や社会保険の手続きにおいては、事業主や証券会社、保険会社などが個人に代わって手続きを行う場合もあるため、勤務先や証券会社、保険会社などマイナンバーの提出を求められる場合があります。

●通知カード

通知カードは、各個人に対してマイナンバーを通知することを目的とした紙製の簡易的なカードです。券面には氏名、住所、生年月日、性別、マイナンバーが記載される予定ですが、顔写真は入っていませんので、本人確認のための身分証明書として用いることはできません。

なお、次号で掲載しますが、個人番号カードの交付を受けるときは、この通知カードを村に返納していただくことになります。

●やむを得ない理由により住民票の住所地で「通知カード」を受け取れない場合

住民票の住所地と異なる場所にお住まいの方は、住民票を異動していただくことが基本ですが、やむを得ない理由により住民票の住所地で「通知カード」を受け取れない方については、現在お住まいの場所をご登録いただければ、そこに通知カードを送付することも可能です。該当する方は登録申請をお願いします。

詳しくは、住民福祉課又は、総務課までお問い合わせください。

☎ 66・2111



地域振興券完売

筑北村及び村商工会では、筑北村地域振興券の第二次販売を、8月2日に坂北総合福祉センターにおいて行い、多数の皆様にお買い求めいただき完売することができました。ありがとうございました。

なお、当日は、暑さによる体調管理を重視したことで、駐車場が満杯になり一般道への影響を考慮し、予定時刻を早めて発売しました。また、販売総数チェックに誤りがあり、再販売したことにより関係者のみなさまにご迷惑をお掛けしました。大変申し訳ございませんでした。今後の再発防止のため、事前準備等を万全にするよう努めて参ります。

この地域振興券の利用期間は、来年（平成28年）1月10日までとなっていますので、お買い求めいただいた地域振興券は、全期間内に利用して頂きますようお願いいたします。

平成26年度温泉施設指定管理者モニタリング評価結果をお知らせします

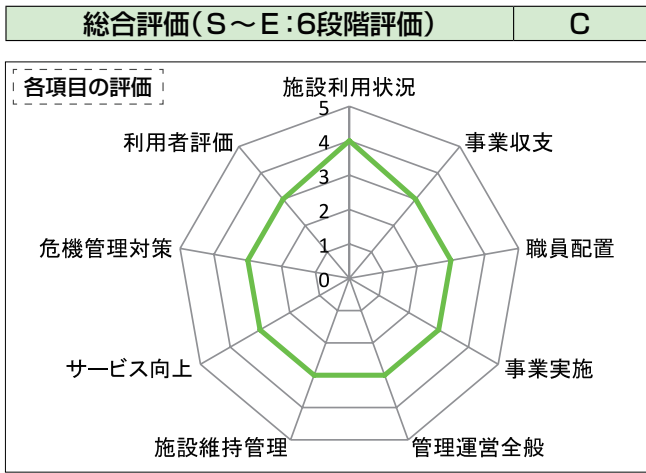
平成25年度より、西条温泉とくらと草湯温泉冠着荘は、指定管理者制度を導入し、(株)共立メンテナンスが管理運営を行っています。

モニタリングとは、実績報告書や仕様書、協定書を確認して、指定管理者が提供する公的サービスの水準を評価、点検することです。このモニタリングを実施するにあたり、有識者と関係団体代表者で構成される温泉施設モニタリング委員会を開催し、第三者の意見を反映しています。

平成26年度の評価結果は、次のとおりです。

なお、事業収支等の詳細は、村ホームページに掲載していますので、ご覧ください。また、温泉施設指定管理者へのご意見は、企画財政課企画係へお寄せください。

西条温泉とくら



評価理由

- ・季節に応じた特別プラン等、事業運営、業務管理全般に努力や工夫が見られ、業績に反映されていることが認められる。
- ・利用者の要望は多様だが、スピーディーな対応による適切な公的サービスの提供に努めてもらいたい。
- ・懸案となっている温泉の温度管理について、早急に改善することが必要である。
- ・収支が目標（計画）を下回っているため、原因の検証が必要である。
- ・事業実施において、サービス向上の努力はみられるが、集客のための宣伝等にも力を注いでもらいたい。
- ・施設管理等は法令を遵守し、適切に行われている。

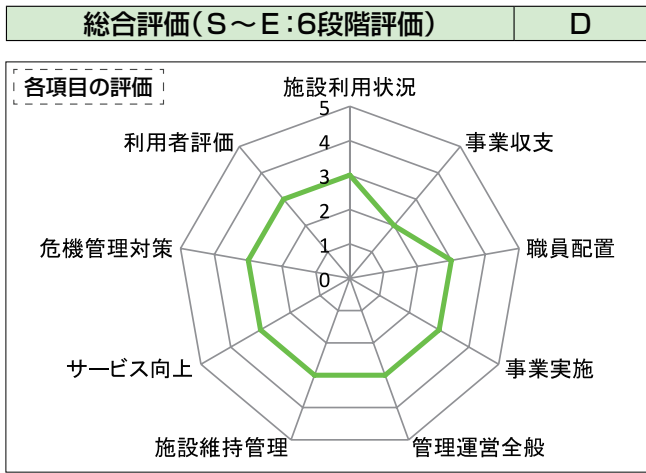
施設の利用状況

利用区分等	利用目標	利用実績	対目標比(%)	対前年度比(%)
宿泊者数	61,855	3,664	108	109
宴会利用者数		6,131		95
入浴者数		56,894		104
合計（レストラン利用者を含まない）		66,689		103

※総合評価

S	期待値を大きく上回る
A	期待値を上回る
B	期待値をやや上回る
C	期待どおり
D	期待値をやや下回る
E	期待値を下回る

草湯温泉冠着荘



評価理由

- ・宿泊、入浴客の利用は増加しているが、地元村民が中心の宴会利用者が減少している。その原因についての分析を行ってもらいたい。
- ・全体的に営業努力は認められるが、利用実績は、目標を下回り、人件費比率等事業収支のバランスに欠けている。管理運営について、検討し改善する必要がある。
- ・民間事業者のノウハウによる「明るい施設」のイメージが具現化されていない。
- ・施設管理等は法令を遵守し、適切に行われている。

施設の利用状況

利用区分等	利用目標	利用実績	対目標比(%)	対前年度比(%)
宿泊者数	25,400	2,894	110	107
宴会利用者数		2,590		92
入浴者数		22,479		108
合計（レストラン利用者を含まない）		27,963		106

※各項目の評価

5	指定管理者要因による目標値以上の結果で評価できる場合
4	目標値以上の結果で評価できる場合（上記「5」以外）
3	業務等が適切で目標値に達している場合
2	実施計画に基づく管理運営や事業の実施が目標値をやや下回る場合
1	業務等が目標値を大きく下回る場合（改善指導が必要）



4月から坂北総合福祉センター大会議室でおこなっておりましたロコトレ教室（介護予防運動教室）は、9月3日（木）から、本城の農村環境改善センター多目的ホール（役場本庁舎となり）に会場を変更しました。

毎回35～45名の方に参加いただいておりますが、参加者の皆さんが安全に、効果的な運動ができるように、広い場所を確保するためです。坂北・坂井方面から、送迎を希望される方は、住民福祉課福祉係（電話66・2111）までご相談ください。

**ロコトレ教室の会場が
変わりました**



時間 午後1時半～3時

3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	月
3日	4日	7日	3日	5日	1日	17日	日
17日	18日	21日	17日	19日	15日		

今後の日程
毎月第1・3木曜日



「コミュニティ助成事業でお祭り用品の整備をしました」

本城地域の大会議室では、公益財団法人長野県市町村振興協会が実施する、宝くじの助成金（一般コミュニティ助成事業）1,500千円を受け、お祭り用の五つ灯籠や張幕の整備をしました。

この整備により、地域コミュニティ活動が途絶えることなく継続し、次世代へ継承することができ、地域の絆の深まりや活性化が図られました。

今年のオータムジャンボ宝くじは、1等・前後賞合わせて5億円

この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや地域住民の福祉向上のために使われます。
収益金は長野県の販売実績により配分されますので、県内の宝くじ売り場でお買い求めください。

【発売期間】 平成27年 9月28日（月）～ 10月16日（金）

【抽せん日】 平成27年 10月23日（金）

1. 介護保険制度の改正について

介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設）に入所、ショートステイを利用する場合に自己負担する食事代と部屋代について、住民税非課税世帯については、減額認定が受けられますが、**8月1日より、非課税世帯であっても貯金等が1,000万円（ご夫婦にあっては、2,000万円）以上ある方の場合には、減額認定を受けられなくなりました。特別養護老人ホームに入所の場合、実家の配偶者の貯金等も勘案されます。**

又、特別養護老人ホームの相部屋（多床室）に入所、ショートステイを利用する場合に自己負担する食事代と部屋代について減額認定を受けていない住民税課税世帯については8月1日より、「室料相当代」を新たに負担していただくことになりました。（具体的な部屋代については、個別に各施設にお問い合わせください。）

2. 輝きさん（村のお元気なお年寄りをご紹介します）



坂北地域中村在住

宮崎 幸盛さん
・大正3年1月1日
生まれの101歳

宮崎 みつ子さん
・大正12年7月20日
生まれの92歳
・ご夫婦2人暮らし

幸盛さんは、学校卒業後、村内の造り酒屋に就職。その後、自分で造り酒屋を開きたいと志を持ち東京の酒屋に修行に行かれました。その勤め先で茨城県出身のみつ子さんと出会い、昭和16年12月ご結婚されました。（結婚生活74年）その後戦争が激しさを増し、みつ子さんと長女は坂北に疎開、幸盛さんは、補充兵として、東京都、群馬県と任務に就かれました。戦後は、みつ子さんと長女

の待つ坂北に戻り、食料確保のために荒れた田畑を必死に耕し、4人の子どもを育てられました。

努力家で、気持ちの優しい幸盛さんと穏やかにいつもニコニコしているみつ子さんは、結婚してから今まで夫婦喧嘩は一度もしたことがないそうです。（70年以上一緒にいて喧嘩しないなんてホントにすごいですね）

幸盛さんは、100歳で車の運転を卒業した（免許を更新しなかった）ので、今は買い物は近所に住む長男のお嫁さんをお願いしているそうですが、それ以外の家事は二人で協力しておこない、畑で野菜作りをしながら、仲睦まじく暮らしている宮崎さんご夫妻にお話を聞きました。

① 今までの中で印象に残っていることは何ですか？

→**幸盛さん** 戦争中、東京都芝浦の部隊で、侵入した敵機の手数を図る任務に就いた際、敵機の手数があまりにも早く、何回も測り直して報告したのに、信用してもらえなかったことが辛かった。

→**みつ子さん** 上野駅から坂北まで車で7時間もかけて疎開したこと。（坂北は遠かった…）

② 気をつけていることは何ですか？

健康管理。

健康のポイント：幸盛さんは、牛乳を毎日3合飲むこと。みつ子さんは毎日ヨーグルトを食べること。食事の際、魚を週4回、肉を週2回必ず食べるように、みつ子さんが栄養を考えた食事作りをしています。

③ 将来の夢は何ですか？

夫婦でいつまでも元気で過ごしたい。（最後は2人で一緒に、ぴんぴんころりと逝きたい。）

※とても仲の良いご夫婦でした。いつまでも仲睦まじく、お元気で！
（次回の輝きさんは、坂井地域を予定しています。）

9月21日（月）は敬老の日

筑北村で今年100歳を迎える方は、4名いらっしゃいます。
筑北村の平均寿命は、男性81.7歳、女性が87.8歳と、県の平均寿命の男性80.9歳、女性87.2歳より長生きです。これからも、みんなで元気で長生きを目指しましょう！！

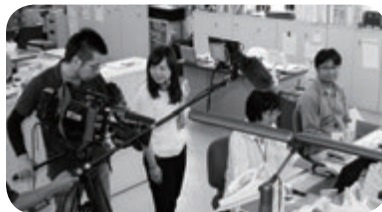


地域おこし協力隊活動報告 【産業課活動報告】

ニュース報道で紹介

a b n長野朝日放送の報道番組「a b nステーション」にて、産業課地域おこし協力隊が開設している食品加工販売等相談窓口業務のひとつであるラベルデザイン作成支援業務が、直売所まんだらの庄や村民利用者の方々の取材協力のもと7月2日に約7分にわたり報道されました。

番組中ではラベル刷新後売り上げが倍増した自家製のお漬物や雑穀商品シリーズ、また新規にラベル作成したオリジナルのはぜかけ米ラベルなどが取り上げられ、製造現場のニーズに即した実践的な支援による筑北村の豊かな地域資源活用商品展開の可能性を感じさせる内容となりました。



村の風景を届ける

産業課協力隊は、農産物の背景となる「風土」の大切さにも着目し、村の観光・情報発信の業務にも携わっています。先日、市民タイムス・信濃毎日新聞・松本平タウン情報各紙でも報道された筑北村コミュニティブログ「ちくほく」を住民有志で運営する信州ちくほくWEBツールの筑北村PR企画「信州筑北村ふるさと絵葉書」の企画支援もその具体的な活動のひとつです。

今回は、村内外からの応募写真をもとに全11点の絵葉書デザインを行いました。春や秋の風越峠やはぜかけ風景、坂北地域からの夕暮れ、坂井地域の安宮神社等の地域のお宝風景が絵葉書として販売されています。

尚、この絵葉書の売り上げは「ちくほく」の運営費として使われます。

(産業課 田中・坂井)

【ちくほく】

9月号の雑誌「ESSE」で筑北村のふるさと納税お返し品が紹介されました。通常業務の他、お返し品の写真撮りも担当しています。

(田中)

お盆に地区の納涼祭がありました。地区のみなさんひとりひとりの得意分野を活かして運営されており、コミュニティの底力を感じました。毎年思うのですが、本城音頭「世界真ん中音頭」は難易度高いですが美しい踊りですね。

(坂井)

本城の庁舎に徒歩で通勤するようになつてから約1か月。体重が少し減りました。普段全く体を動かしていないので、ちょっとしたいい運動になっているようです。

(滝沢)

今年の夏は暑かったですね。私は休暇を利用してタイに行き、タイ古式マッサージの資格を取ってきました。ヨガのような要素を取り入れたマッサージには技法がたくさんあり、さらに勉強したくなりました。

(大場)

筑北村「福祉教育の日」が実施されます

筑北小学校と坂井小学校では、2校合同による「福祉教育の日」を実施します。

これは、障がい乗り越えてたくましく生活している方の生き方に学んだり、障がいの実態や支援方法を理解したりして、自分で出来ることを考え、福祉や障がい者に対する意識を高めていくねらいで、毎年1回、村内の小学4年生から6年生を対象に、赤い羽根共同募金の助成を得て実施しているものです。

地域のみなさんもお鑑賞いただけますので、この機会にぜひご来場ください。

- 開催日時 10月1日(木) 10時50分から12時まで
- 場所 坂井小学校体育館
- 内容 主に知的障がいを持っている方が音楽を通じて社会的自立できるように支援しているNPO法人ケ・セラの活動のひとつである「楽団ケ・セラ」に所属するみなさんをお招きしての演奏会
- ◇お問い合わせ先 坂井小学校(電話 67-2241) または 筑北村社会福祉協議会(電話 66-2506)

いる古いお膳や綺麗な絵柄の食器を見せていただいたことがありました。古民家と言えば、坂井で色々な活動をご一緒している「坂井ちよつとやる会」のメンバーには、雰囲気のある素敵な古民家にお住いの方が大勢います。

早速、小林さんと大場と3人で、「枳屋商店」さんに伺い、古いお皿や塗のお椀などをお借りできないかご相談しました。「昔は結婚式も全部自宅で行ったのよ。だからこんなに食器があるの」と話しながら様々な種類の器を見せてくださり、「こんな古い物がいいの?いくらでも使っているわよ」と快く貸してくださいました。撮影場所は、お世話になっている坂井の玉井文江さんにご相談して、ご自宅で撮影をさせていただきました。当日は玉井さんのお家の台所を使わせてもらい、一緒にお料理をしながら色々な話をしました。こんな風にして、村の方にご協力をいただいて、素敵な写真をたくさん撮ることができました。本当にありがとうございます。撮影の時に驚いたのが、小林

認知症と糖尿病

～糖尿病など生活習慣病の予防・改善が、認知症の予防につながります～

健康
ほっと
情報

認知症ってどんな病気？

●認知症は脳の神経細胞が障害されることによっておこり、認知症の約 50%がアルツハイマー病、約 30%が血管性認知症です。

●認知症の症状

新しい体験をまるごと忘れ

てしまう、「記憶障害」がみられます。

（食事したこと自体を忘れる・

財布をタンスにしまったことを忘れ、

盗られたに違いないと言う「物盗られ妄想」などがみられることがあります。）

本人には物忘れをしているという、自覚がありません。

徐々に進行し思考力・判断力が低下し、買い物や料理ができなくなったり、時間・場所・

人の認識ができなくなっていくます。

食べたかしら？

料理が
できない…

アルツハイマー病は「脳の糖尿病」

糖尿病と糖尿病予備軍ではアルツハイマー病の発症リスクは2～4倍に！

アルツハイマー病は、「アミロイドβ（ベータ）」という老廃物質が脳に蓄積することが原因の1つです。

これにより脳が委縮し、認知症を引き起こすとされています。

血糖値の上昇を抑えることが アミロイドβの蓄積を防ぎます

血糖値が高いと血糖を下げるホルモンであるインスリンが過剰に分泌されます。インスリンは最終的に「インスリン分解酵素」によって分解されるのですが、一方でこの酵素がアルツハイマー病の原因物質のアミロイドβも分解しているのです。「インスリン分解酵素」は、食事のとりすぎでインスリンが多く出すぎると、その処理で手いっぱいになり、アミロイドβの分解がおろそかになって、アミロイドβが脳に蓄積してしまうのです。

アルツハイマー病と血管性認知症の関係

血管性認知症は、脳の血管が詰まる「脳梗塞」などによって脳細胞がダメージを受けることで起こります。

アルツハイマー病＋血管性認知症 両方の病気が重なり合うと、認知症状が掛け算的に悪化します。生活習慣病の管理が何よりも重要です。

認知症を防ぐために？

認知症の発症には、糖尿病・高血圧症・脂質異常症などの生活習慣病や、肥満、飲酒過多、喫煙、不健康な食事などの生活習慣が深くかかわっています。

年に1度は健診を受けて、生活習慣病を予防・改善していきましょう。

認知症予防のための食生活

～血糖値の上昇を抑える食生活で、脳へのアミロイドβの蓄積を防ぎましょう～

1. ご飯やパン、麺類などの炭水化物の食べ過ぎを防ぎましょう。

2. 脂肪のとり過ぎも血糖値を上げる原因になります。

内臓脂肪が増えて、いわゆる「メタボ」の状態になると、インスリンの効きを悪くする物質が出て、血糖値が下がりにくくなりますので、脂肪のとり過ぎを控え肥満を防ぎましょう。

3. 食べる順番を変えて 1. 野菜 2. 魚・肉 3. ごはんの順に

まずはじめに、野菜・きのこ・海草から食べ、次に魚や肉などのたんぱく質が豊富なおかずを食べ、最後にごはんやパン、麺類などの炭水化物を食べるようにします。

野菜などの食物繊維が糖の吸収を遅くしてくれるので、食後の血糖値の上昇がゆるやかになり、インスリンの分泌も抑えられます。

また、最初に繊維質の多い野菜を良く噛んで食べることで満腹感が増し、最後に食べるご飯の量が自然に減らせるというメリットもあります。



認知症予防のための運動

～運動を積極的に取り入れましょう～

運動をすることでアミロイドβを分解する酵素が分泌されることが科学的にわかってきました。運動習慣のある人は認知症の発症頻度が30%低いといわれています。

1. 有酸素運動は認知症予防に有効です。

ウォーキングは1日7000歩～8000歩を目指して早歩きを取り入れ、週3回以上行った場合認知症のリスクを約30%減らすことができますといわれています。

膝や腰の悪い方などでは、室内でできる体操や、庭遊び・畑仕事、掃除などの家事でできることから、毎日身体を動かすようにしましょう。

認知症予防のために 社会参加を

社会的つながりを多く持っている人では、つながりの少ない人に比べ認知症の発症率が8分の1に抑えられているというデータがあります。地域の身近な活動などに積極的に参加しましょう。

認知症は周りの人が早く気付いて専門機関に相談することが大切です。

役場住民福祉課でも相談をお受けしています。お気軽にご相談ください。

司法書士無料法律相談所 を開設します

10月1日は「法の日」です。
長野県司法書士会では、左記により、無料法律相談を実施して、ご相談をお受けします。
お気軽にお出掛け下さい。

★相談は予約制です。

- 受付期間
9月30日（水）午後3時まで
- 予約受付
役場総務課又は各支所にて受け付けます。

◇相談内容
不動産の登記・会社（法人）の登記に関するもの、クレジット・サラ金等多重債務に関するもの、高齢者・障がい者等の財産管理に関するもの、相続に関するもの、不動産の売買・贈与等の取引に関するもの、借地借家に関するもの、悪質商法被害に関するもの、貸金・売掛金等の回収に関するもの など

- ◇日程・場所
●開設日（3地区同日）
10月1日 木曜日

- 本城地域
▽筑北村役場
▽午前10時～12時
- 坂北地域
▽地域情報センター
地階会議室（坂北支所隣）
▽午前10時～12時
- 坂井地域
▽筑北村坂井公民館
▽午後2時～4時

※司法書士には守秘義務が課せられておりますので、皆様の秘密は厳守いたします。

◇お問い合わせ先
総務課 電話 66・2111



筑北村 議会だより

第59号

平成27年9月18日発行

編集 筑北村議会だより編集委員
〒399-7501
長野県東筑摩郡筑北村西条4195番地
電話 0263-66-2111
FAX 0263-66-3370
ホームページ
<http://www.vill.chikuhoku.lg.jp>

本議会の映像は
筑北村ホームページから
ご覧になれます。

れている。防犯灯とあわせて今後、計画的に更新について検討していく。

火の見やぐらの維持管理

一般質問



中村 弘 議員

ホットスポットちくほく

質問 筑北村の火の見やぐらの総数と、その内の白熱電球のやぐらの数、また、それをLEDに交換する予定はないか伺う。
総務課長 村内の火の見やぐらは48基（本城15・坂北17・坂井16）その内3基に電球がない状況である。LED化は徐々に進めていく必要があり、現在村の防犯灯も1割程度がLED化さ

防火水槽の管理



消防 火の見やぐら

質問 河川から直接取水している防火水槽は何基あるか。また水槽にたまった土砂の片付け・管理はどの様になっているか伺う。
総務課長 村内に171基あり、その内、8割程度が河川からの取水である。団員の減少により、清掃等の管理は困難な状態である。村での対応も数が多いので難しい。新設する防火水槽については密閉式の水槽を整備し団員の負担軽減を検討していきたい。合わせて団員確保に努めたい。

国勢調査が行われます

国勢調査は、日本国内に住んでいるすべての人と世帯を対象に10月1日を基準日として全国一斉に行われます。

国から委託を受けた調査員が各戸を訪問しますので、ご協力をお願いします。

なお、今回から紙の調査票だけでなく、インターネットによる回答もできるようになりましたので、ご利用ください。

○次の事項を調査します。

・全17項目あります。

◆世帯について 4項目

世帯員の数、住居の種類、住宅の建て方など

◆世帯員について13項目

男女の別、出生年月日、就業の状態、従業地又は通学地など

○結果は平成28年2月に速報が公表されますが、詳細は平成28年10月から順次公表されます。

また、調査についての個人情報報は統計法により厳重に保護されており、インターネット回答についても厳重な安全対策が行われております。

防火水槽の表示板

質問 防火水槽を示す表示板の文字が薄れ、見えにくくなっている。現在の管理体制を伺う。

総務課長 防火水槽の表示板は、火災の消火活動の際、車両の駐車制限や障害物を置かないなどの規制をする役割がある。団員による調査を実施し、必要なものは随時更新をしていく。

質問 自然災害が多発している。この冬の村全域での停電は、住民に情報が伝わらず、不安に感じた方は多かった。火の見やぐら・防火水槽は災害時対応には欠かせない重要な施設なので、今後も村・消防団が連携を取り管理して頂きたい。

村内の屋外スポーツ施設の充実



宮島 義次 議員

質問 村の野球場とテニスコートについて、施設の充実が望ま

普通救命講習会開催のご案内

普通救命講習会を次のように開催しますので、是非ご参加ください。

- 開催日時 平成27年10月31日（土）午前9時から午前12時まで
- 開催場所 安曇野市明科中川手3167番地1 明科体育館2階柔剣道場
- 内容 大人を対象とした胸骨圧迫や人工呼吸の実技、AED（自動体外式除細動器）の使用方法、出血時の止血法の応急手当などの講習
- 定員 30名
- 受講料 無料
- 申し込み方法
・麻績消防署または明科消防署に直接受講申込書記入、もしくは電話申し込み。
麻績消防署 電話 67-2992 明科消防署 電話 62-2992
・申込締切日 10月30日（金）または定員30名となり次第

れている。

☆本城球場

①大会役員・審判員が入れる本部室

②ボール・ストライク・アウトの表示板

③放送設備等の設置

☆坂北やすらぎ球場

①バックネット裏・内野部分への観覧席設置

☆坂井、坂北やすらぎテニスコート
①人工芝の張り替え

以上について、村の考えを尋ねる。

教育長 本城球場については、近年、本城球場と坂北やすらぎ球場を一体的にした大会が増えてきており、大会役員・審判員が入れる本部室、ボール・ストライク・アウトの表示板、放送設備等の設置は、利用者を増やす有効的な手段と考えられるが、以前にもこれらと大型得点板の設置の要望があり、検討したところ、工事費が1千万円近くかかることから、財政への負担を考え、実施に至らなかった。しかし、事業費を抑える簡易なもので対応できれば検討し、設置を考えていく必要がある。



指定管理施設「西条温泉とくら」

村長 更なる企業努力を総支配人へお願いした。村民からの不満も聞くが、もう少し様子をみたい。

質問 指定管理施設は14あり、今まで様々な要望が出され、村は前向きに対応してきた。契約が曖昧であるため、村が負担せざるを得なかったと考える。

村長 指定管理者制度はメリッ



本城グラウンド（野球場）

坂北やすらぎ球場については、村内クラブ、高校、大学野球部の練習、各種大会、県大会などが多数開催されており、利用度は高く、バックネット裏、内野部分への観覧席の設置は、利用者や観覧者からの要望も多いこと、現在どのようにできるか担当課で検討を行っている。

坂井、坂北やすらぎコートの人工芝の張り替えは10年が目安だが、両コートは20年以上経過しており、限界がきていると考えられるので、計画的に張り替えていく必要がある。

いずれにしても、施設改修には多額の費用が必要となるので、各施設の運営方法や施設使用料等も精査し、計画的に進めたい。

地域振興券の発売

質問 予約申込書を各自が直接役場支所に提出しないといけないか。また、発売に当たって発売所まで行くことのできない人はどうなるのか尋ねる。

産業課長 予約申込については、各常会長さんに予約申込書の取りまとめと、役場各支所への提出をしてもらうことにしている。また、個人で直接役場もしくは商工会へ提出することも可能である。発売所まで行くことのできない人については、一斉発売後に商工会窓口で常設販売をする。また、商工会の移動販売車「おたがいさま」でも引換販売をすることになっているので、こちらでの購入をお願いしたい。

集落職員担当制度の問題提起



太田 守彦 議員

質問 集落を担当する職員が担

繰越事業について



山崎 広道 議員

質問 平成26年度の繰越事業は地方創生に関連した事業である。これらは地方創生による村づくりと考えるが、これに対する村長の考えと決意を尋ねる。

村長 村としては、前へ進むための色々の事を取り入れていかなければならない。国からの交付される交付金の都合で予算付けも年度末となり、繰越事業とした。

質問 繰越事業の実行事業数と、事業の現在の進捗状況、事業が完了した箇所を尋ねる。

企画財政課長 繰越事業は一般会計20事業、特別会計3事業。このうち、一般会計の土木総務費のスマートインターチェンジ整備構想検討業務、道路新設改良の2事業は、すでに完了している。

質問 残り21事業の5月末まで

う役割と活動状況、成果を伺う。

総務課長 平成23年度から各区に職員を3〜5名配置し、地域づくり支援や行政との連絡調整を行っている。

内部での取組み内容は、リーダー会議で共有し、活動結果を集落担当事業報告書で提出する。21区のうち17区で自主防災組織が結成でき、大きな成果と考える。

質問 集落担当の活動により職員の皆さんに通常業務へ支障が出ていないか、また手当等の支給状況はどうなっているか。

総務課長 勤務時間外での活動が主だが、日程調整などで対応し、特に支障はない。活動は公務扱いとし、時間外手当を支給している。

質問 次の10年を考えると、集落の再編成や施設統廃合の問題、ベテラン職員の退職など厳しい課題が多い。地域住民と職員との関係づくり、特に坂井・坂北地域をどう進めていくか伺う。

村長 本庁方式により、役場が遠くなったという印象もあるかと思う。集落担当制度を通じて積極的に地域へ職員が出かけて

の進捗状況を再度尋ねる。

企画財政課長 残り21事業中18事業は既に契約済で事業に着手しており、9月頃までに竣工予定。未着手の総合戦略策定事業は、策定に向けて準備中。公共施設等総合管理計画策定委託は業者選定の準備中。空き家改修補助金は、5月から申請を受け付けている状況である。

地方創生に係るものが10事業あり、繰越が多くなっている要因となっている。

質問 村民の皆様に関心を持ってもらう意味で、残り21事業の内容説明を願う。

企画財政課長 一般会計18事業、特別会計3事業で、次のとおり。

☆一般会計

- 1 合併記念ビデオ作成等
- 2 筑北村総合戦略策定
- 3 公共施設等総合管理策定
- 4 秋葉団地職員駐車場整備
- 5 番号制度対応
- 6 庁舎改修工事設計監理
- 7 庁舎什器調査・計画策定
- 8 庁舎改修に係る村単工事
- 9 移住ナビ動画
- 10 移住者用ガイドブック改定
- 11 空き家バンクシステム

いくことで、住民の皆様と良好な関係づくりを図っていきたい。

指定管理者制度の問題提起

質問 先日の新聞紙上に「麻績村の観光2施設、今年中に指定管理者を選定」の記事が載り、本村と同じ共立メンテナンス社（以下、共立M社）の撤退ニュースが流れた。本件につき共立M社と連絡を取り合われたか尋ねる。

総務課長 先方の総支配人が麻績村施設の現状と経過等について説明に來られた。

質問 『会社四季報』で共立M社の業績を調べたが、直近3年間で売上げは14億円、経常利益は22億円も伸びた。今期経常利益額は75億円を見込んでおられ、当初予算41億円余の筑北村には身の丈以上の相手と感ずる。しかし、業績は良くても、不採算の事業は切り捨てるといふ企業論理は、指定管理者制度の根幹を揺るがす問題である。また、地方の隅々まで経済の好循環を行き渡らすという政府の戦略にも逆行していると考える。



社会資本総合整備事業
村道学校線

- 12 空き家対策計画
- 13 空き家改修補助、
- 14 プレミアム商品券販売
- 15 社会資本総合整備事業
- 16 地域防災計画策定
- 17 空き校舎活用支援補助金
- 18 スポーツ振興助成補助金

☆特別会計

- 19 宅地分譲地看板設置
- 20 簡易水道資産台帳作成
- 21 簡易水道施設整備計画策定

空き家対策



小山 正博 議員

質問 空き家情報登録制度、通

称「空き家バンク」について、空き家を活用し人口増と都市住民との交流を図るために実施され3年が経過するが、現状を尋ねる。

村長 空き家は194棟で、空き家バンク登録数は48棟。契約数は23棟で、募集中が13棟。内訳は、15棟が県外から、2棟が村内、5棟が別荘利用、1棟が法人である。県内外から39名の移住があり、一定の成果と考える。

質問 194棟中48棟が登録、約75%の146棟が未登録だが、その理由を尋ねる。

企画財政課長 1番多いのは、お盆等の帰省時に使用したい。2番目は、家財が相当残っている。3番目は、移住者と近所の方とのトラブルに考慮してためらう。以上の理由である。

質問 4月から老朽危険空き家対策として、「空き家解体撤去補助制度」が実施されているが、運用状況を尋ねる。

村長 空き家等対策計画を策定中で、倒壊の危険があるものは23棟。それ以外に5月までに坂北・坂井地域で各1件の計2件

れば、双方で協議することもあり得る。

筑北村教育検討会議の立ち上げ

質問 筑北村教育検討会議の内容は、筑北村の義務教育の方向を定める重要な指針になると思われるが、委員選定の考え方を伺う。

教育長 検討結果は教育委員会への答申を考えていたが、将来の村の教育及び教育環境を幅広く討議するため、教育委員も委員に含めることとした。保育園、小中学校からと、客観性の確保のため、村内外の識見者、計20名で構成する。

質問 密度の高い意見集約の観点から検討事項を提案するスタイルが望ましいと考えるが如何か。

教育長 諮問としては提示しない方針である。教育・教育環境につき、これまでの種々の検討会の中身を踏まえ、シミュレーションを作成したい。

質問 会議の内容は将来的に重要である。児童・生徒を中心に

の申請があり、緊急性が高かったため先に撤去した。

質問 昨年6月にも質問したが、冠着駅前の住宅の老朽化が、更に進み、また危険性も増しているとの住民の声もある。村の対応を尋ねる。

村長 1年間情報を収集し所有者が村へ寄付する事が確認され、本年度中に撤去予定である。



JR 冠着駅前の老朽化住宅

据え、住民の意識の変化にも留意しつつ、意義ある成果を生むよう要望したい。

財政支出削減のための後発医薬品の使用

質問 通称「ジェネリック医薬品」は、先発の医薬品と対比しても効用の面で遜色がなく、価格も安価である。医療費支出削減のため効果的である。使用状況、今後の対処法を伺う。

住民福祉課長 全国で40%の普及率で、平成32年度までに80%達成を目指している。当村では現在56%。薬品の情報提供や安定供給に問題が残るが、今後一層の使用拡大につなげたい。

質問 現在使用されている薬品をデータベース化して、後発医薬品への移行を勧めている自治体もある。今後の検討課題として考慮されることを望む。



アナログ放送のデジタル化変更

質問 文字放送と防災カメラ映像の、アナログ放送からデジタル化への変更（チャンネル再設定を村に依頼した件数）状況を尋ねる。参考までに私の身近では、10人中約3人のみの変更だった。

総務課長 チャンネル設定方法についての広報を3月に全戸配布した。チャンネル設定の実数は把握できていないが、村への設定依頼は8件だった。村では、8件と少数であったので殆ど終了したとの認識である。

質問 村の認識では終了でも、私の知る範囲では全く逆である。何らかの方法で確認すべきではないか。更なる普及について対応を尋ねる。

総務課長 文字放送や防災カメラは、村の告知と非常時の情報伝達手段の1つで、いつでも視聴できる事は重要である。しかし、停電時には視聴できないので、今後将来に向けて更に多角的に検討し、公報等を使って推進していく。

筑北小学校が開校して2ヶ月間の現状



鎌田 欣子 議員

質問 2ヶ月が過ぎた筑北小学校の現状と放課後児童の様子を伺う。

教育次長 本城地域はスクールバスに全員が乗車している。朝は順調に運行している。帰りについては、学校の日課や放課後児童クラブの動き等々や路線も複雑で子ども達も戸惑っている状態であったが、徐々に慣れてきている。子どもたちが迷わないようにと、先生・放課後児童の指導員の皆さんにご苦労をかけている。

質問 放課後児童クラブの登録人数と今後教育委員会としてどのように対処するのか尋ねる。

教育次長 放課後から午後5時半までは無料となり、当初考えていたより多くの登録が（現在筑北小78名・坂井小41名が登録）

指定管理者制度の運用



山田 寿 議員

質問 指定管理の目的と、現在の運用状況を伺う。

村長 公の施設に民間の能力を活用し、サービスの内容・質の改善と、行政経費の削減を図るのが目的である。14施設ある中で、3施設以外は黒字である。赤字の原因としては、維持経費の高騰、人の流れ等の周辺環境の変化が考えられる。

質問 管理者選定の段階で、企業経営診断のプロ、同業種の精通者、利用者代表を委員として組み入れては如何か。

村長 選定委員の枠組みも変更されたので、参考にしながら選定を実施したい。

質問 指定管理料に上乗せする形で、新たな要望が出された場合の対処について伺う。

村長 原則的には基本協定書の定めに従うが、大きな変化があ

あり、苦慮している。センター長を中心に効率よく出来るよう、環境を整え見直す予定である。
意見 筑北児童クラブの指導者が4名では、現状に追いつかない状態である。村長に人的配置を要望したい。



筑北小学校放課後児童クラブ

松くい虫燻蒸処理の後始末ビニールと薬剤ビンの回収

質問 昨年6月に同じ質問をしたが、燻蒸処理後の期間と、松を覆っているビニールと薬剤ビンを片づける予定はあるか伺う。

村長 被覆薬剤の燻蒸するため期間は1週間から2週間程度が必要であるが、気候によって異なるので、1か月を目安に考

教育長 現在、「子供を守る安

質問 子供を守る安心の家は、バス通学により、通学路も変更になり、見直すことはあるのか
何う。

教育長 防犯パトロールについては、現在小・中学校を対象に、月一回のパトロールを、下校時過ぎに行い、そのほか学校では、登下校時の指導をしている。

質問 通学路の安全確保関係で、現状を尋ねる。

通学路の安全確保

質問 食生活の改善が特に重要と思うので、強化対策を希望する。

住民福祉課長 糖尿病の患者数は、平成25年時点で329人と、5年前より約1.6倍の状況であり、必要がある方については、栄養士が個別に関わって食生活の改善を含めた取り組みをしている。また、キラリ☆アクア健康教室も力を入れ継続し、運動の習慣を呼びかけて行きたい。

題となつていますが、その予防策等を伺う。

村の排水処理状況（全体は78%）		
農集エリア	西条他4ヶ所、坂井	83%
林集エリア	坂井真田、中尾	88%
合併浄化槽	坂北、坂北以外の一部	72%

質問 村の現状を尋ねる。
建設課長 村全体の水洗化率は86%と高い。（上記参照）リフォーム補助金、限度額15万円を活用して、未設置の家庭が減ることができればと考えている。家庭から出る雑排

集落排水・合併浄化槽の設置

質問 ビニールと薬剤ビンは片づける仕組みを予算に盛り込み、ゴミのない村づくりを考えて欲しいと提言する。

被害の拡大に対し、被害木の処理が追いつかない現状である。

えて欲しい。2次被害防止を考えると半年から1年必要である。

産業課長 燻蒸処理したビニールは回収処分することは問題ないが、被害木が完全に枯れるまでは、松くい虫が発生する可能性が高いため、可能な限りビニールによる覆いは必要である。

企画財政課の成果について



横山 敬 議員

質問 企画財政課の成果について伺う。

村長 新設した企画財政課の大きな任務の一つは、財政シミュレーションを作る事であり、本年度策定する建設計画、過疎計画にも盛り込まれている。課の設置から2ヶ月余りなので成果が見えてくるのは今後である。

企画財政課長 新しい課として新規事業への着手はまだできていない。その意味では、成果というものはないが、課員が5名と少人数なので、係を越えた自由な意見交換や迅速な決着等が現在可能になっている。

防災計画の見直し状況



佐藤 文男 議員

質問 防災計画及びハザードマップの見直し状況について尋ねる。

総務課長 災害対策基本法の改正により各種の追加見直し等が必要で、現在見直し中。作業終了次第、防災会議を開き計画の見直しを行う予定である。

質問 各種調査等で遅れは分かるが、時期はいつ頃迄の予定か尋ねる。

総務課長 秋から年内目標とし、日程調整する時間がかる。

質問 住民の安全安心の確保を図る為にも、早急をお願いする。

筑北村教育等検討委員会

質問 会議名の変更と現状を尋ねる。

教育長 委員の選出に困難や身を再度検証等で遅れている。

を検討したい。村としての情報収集、関係機関との協力体制づくりなど新たな防災計画の見直しに力を入れていきたい。

質問 26年度に土砂災害防止法による危険地域の指定がされた。多様化する災害に備え、公共施設、避難施設の見直しについて尋ねる。

総務課長 現在ハザードマップの見直し計画を立てている。なお、計画についての説明会を8月9月に実施したい。住民の皆さんの意見が反映できるよう計画を立てていきたい。

質問 自主防災組織について組織化された地区、未組織地区の現状など今後の在り方についてどうか。

総務課長 神城地震における「隣助」、近所の力の重要性が示された。常会、区等自主防災組織の中でどんなことができるか検討している。未組織地区については地域の事情を加味し結成に向け準備を進めたい。

県立自然公園差切峠の維持管理

質問 溪谷美あふれる自然公園

教育委員も含む検討会議に変更し、村として教育及び教育環境が、どうあるべきかの答えを出していく。7月に初回の会議を予定している。

質問 学校の統合を前提として、財政面も含め、一日も早く検討をして貰いたいが如何か。

教育長 これからの村の財政を考え総合的に検討していきたい。

医療費の低減対策

質問 村は医療費が非常に高額であり、その原因分析と予防対策の現状について尋ねる。

住民福祉課長 村の一人当たり医療費は41万5千635円で県下1位。医療費が高い理由として、糖尿病患者が多いこと、高齢化率約41%等がある。医療費の抑制については、予防でき得る疾患の発症予防と、重症化予防に取り組んでいる。村の特定健診受診率は約半分であり、未受診者対策に取り組んでいくとともに、原因分析も進めている。

質問 予防対策が医療費抑制に繋がる。糖尿病が多く、優先課

差切峠の景観保護と安全対策について尋ねる。

村長 公園一帯が保安林であることから、保安林改良事業による枯損木、かん木除去を県に要望し、景観保護を進めたい。また、安全対策については、遊歩道の転落防止柵修繕工事を今年度計画しており早期発注をしたい。

産業課長 転落防止柵について安全確保できるよう修繕工事を実施したい。旧県道の川側に柵のない箇所についても合わせて新たに柵の設置を実施すべく準備を進めている。

質問 旧県道敷（トンネル含む）は落石、枯損木、枝等の落下が多くトンネルも通行止めの状況であり、整備についての考えはどうか。

産業課長 遊歩道入口の法面崩落については、関連工事の中で実施したい。

建設課長 トンネル入口の上部吹きつけ面の崩落であり、現在見積を徴取して工事着手することになっている。

質問 急流な川下りを楽しむ観光客をはじめ、多くのお客さん



現在のスクールバス

7月15日、第2回臨時会が開催されました。
・平成27年度筑北小学校スクールバス整備事業物品購入契約について
1件の議案が提出され、可決されました。

議会第2回臨時会



差切 旧県道トンネル

の安全確保と、自然公園としての景観保護のため、整備、維持管理をお願いしたい。

筑北村プレミアム商品券の発行



沖村 智 議員

質問 購入希望者全員が購入できるプレミアム商品券の販売手法についてどのように検討されているか伺う。

産業課長 多くの方が購入できるように検討した。販売場所へ行く

くことができない方についても購入できるよう対応策を検討している。

質問 プレミアム商品券の発行は地域振興が目的だと理解している。行政が設置した既存の制度も含め、住民が利用しやすい環境づくりが必要であり、村長の考えを伺う。

村長 プレミアム商品券については、多くの住民が利用できるよう、様々な関係団体へ投げかけを行っている。現在協力いただける方（事業者）を牽引役として成功させたい。

長期財政フレーム（※）策定予定

質問 塩尻市が長期財政フレームを発表したとの報道があったが、当村の現状を伺う。

村長 財政シミュレーションの作成は、企画財政課を新設した大きな目的である。村の財政状況を住民へ理解してもらう非常に大切なものであり、本年度中に公表できるよう計画している。

質問 本年度中の公表とのことであるが、平成28年度予算を検討

討するうえでは、本年の12月までに公表していただきたい。

企画財政課長 建設計画および過疎計画を来年の3月に議決予定している。これらは、年内に相当程度財政計画が完成していなければ作成できない。よって、年内を目処に長期財政フレームの作成に努めていく。

（※長期財政フレームとは
将来にわたって歳入と歳出の額を積み上げて中長期的な計画の財源裏づけをするもので、計画を達成できるかどうかを左右する重要な試算のこと。）

高齢化に対する村の取組み

質問 この先、超高齢化時代に向かうが、懸念される問題はどのようなものがあるのか伺う。

村長 5月31日現在の村の高齢化率は約41%である。身体の衰えにより通常の生活ができなくなることや、集落の運営が困難になることなどが考えられる。高齢化による問題はたくさんある。例をあげられるが、高齢化による直接的な問題ばかりでなく間接的な問題も発生してくると考

える。

質問 非常に難しい質問であるが、村では現在どのようなことをいつ着手するのか伺う。

村長 よく言われることに、「自助・共助・公助」という言葉がある。自助と共助の中間に位置づける考え方で「隣助」という言葉も新たに使われている。現在ある行政の事業も継続して実施していくが、地域での工夫や協力が必要である。災害に限らず、普段のご近所のつながりも必要だと考えている。



総合防災訓練の様子

議会日誌

7月

- 6日 松本広域連合議会議員協議会
- 9日 松本広域連合議会第1回臨時会
- 9日 篠ノ井線松本地域活性化協議会総会
- 14日 国道143号改良舗装期成同盟会総会
- 16日 青木・麻績インター・新町間県道整備促進期成同盟会総会
- 17日 青木・麻績インター・新町間県道整備促進期成同盟会県要望
- 21日 役場本庁舎業務開始式
- 22日 地域高規格道路松本糸魚川連絡道路長野県側ルート建設促進協議会総会
- 22日 松塩筑木曾老人福祉施設組合7月臨時会
- 23日 県道真田新田線改良促進期成同盟会総会
- 23日 町村議会議員研修会
- 31日 筑北村社協長期構想策定委員会

8月

- 11日 松本・佐久地域高規格道路建設促進期成同盟会総会
- 21日 国道403号(千曲安曇野間)道路整備促進期成同盟会中央要望
- 21日 松本地域正副議長懇話会
- 23日 筑北村社協そよかぜふくしあわせまつり
- 25日 東筑摩郡村議会議長会第1回臨時総会
- 29日 東筑摩塩尻PTA連合会研修会
- 31日 村民の皆様と議会議員との懇談会（本城地域）

9月

- 1日 村民の皆様と議会議員との懇談会（坂北地域）
- 2日 村民の皆様と議会議員との懇談会（坂井地域）
- 3日 東筑摩郡村議会議員大会
- 7日 中部縦貫・北陸関東広域道路建設促進期成同盟会総会



「きささげ夢プロジェクト」
全校混声合唱団「コール・聖南」
『予感』（混声三部合唱）で
NHK学校音楽コンクール
中信ブロック大会で優秀賞
（三年連続）
同 県大会で優良賞
（二年連続）

県大会には二年連続で推薦されての出場となりました。
六回の全校合唱練習には、「きささげ応援団」の宮人さん、嶋田さんにパート別練習でピアノ伴奏をしていただいたり、アドバイスをいただいたりしました。おかげで確かな音程を取ることができるようになりました。ハーモニをつくることができました。コンクールにも足を運んでいただき、地域と共にある学校、まさにコミュニティスクールを実感しています。審査員講評には「人数が多いだけでは伝わってこない今の大切な心をつかりと歌い上げています。中学の中でこんな素晴らしい合唱ができる君たちは幸福です。この喜びをより多くの人に伝えて下さい。」という言葉があります。『きささげ祭』でも歌います。ぜひ、お越しください。
吹奏楽部「東海吹奏楽コンクール」出場！ 応援ありがとうございました。特集は26ページ
夢プロジェクト「東日本大震災復興ボランティア」の様子は次号で。

午後は、中学生との交流会を計画。日本文化や伝統を共に体験し交流します。体験コーナーの講師は「きささげ応援団」十五余名の皆様です。PTAの力も借りて交流給食もします。すでに、七つの体験コーナーの責任者の皆さんで打ち合わせ会

「きささげ夢プロジェクトⅢ」「国際交流」
ドレスデンフィルハーモニック児童合唱団
【Dresdem Philharmonic Childrens Choir】
10/13（火） いよいよ聖南中学校へ
コンサート 10:15～11:00（開場 9:45）
音楽交流 11:00～11:45
入場無料 **どうぞ お越しください**



が行われ、準備も着々と進んでいます。地域の皆様とワクワクして当日を迎えたいと思います。
〈七つの体験コーナー〉
○和服の着付け ○日本のあそび（お手玉・コマなど）
○書道 ○太鼓 ○折り紙
○木工 ○茶道

信州型コミュニティスクールの活動をお知らせします

8月6日に第一回筑北村教育等検討会議を開催しました。
この会議は、保育園や小中学校の統合を含めた独自の教育の在り方を考える会議で、保育園・小中学校の保護者、識見者の23名で構成されています。
委員のみなさんからは、「統合した筑北ひまわり保育園・筑北小学校の現状を知りたい。」「村費の先生の予算はどうなっているか。」「等々いろんな意見が出されました。
委員のみなさんからは「統合した筑北ひまわり保育園・筑北小学校の現状を知りたい。」「村費の先生の予算はどうなっているか。」「等々いろんな意見が出されました。
委員のみなさんからは「統合した筑北ひまわり保育園・筑北小学校の現状を知りたい。」「村費の先生の予算はどうなっているか。」「等々いろんな意見が出されました。」



7月14日に日本ウェルネス高等学校 信州筑北キャンパスの竣工式・内覧会が行われました。信州筑北キャンパスは本年9月に開校予定です。スポーツコース（野球・サッカー・女子バレーボール・男女バスケットボールを予定）を軸に活動が行われ、ほとんどの学生が筑北村に住所を移し、村内の空き家を学生寮として活用する方向で進んでいます。
内覧会には改装された開放的な教室も披露され、伸び伸びとした教育に期待が持たれます。
日本ウェルネス高等学校



8月23日に行われたPTA作業へ坂井の「ちょっとやる会」の12名の皆さんが参加してくださいました。校門横の藤の剪定と校庭の草取りをやっていたいただきました。保護者の数も年々減る中で、参加



「昔の遊び」であやとり遊び

9月3日に祖父母参観と合わせて、地域の方に講師をお願いして保護者と一緒に教えていただく「ふれあい講座」を行いました。今年初めての活動でしたが、「切り絵」「昔の遊び」など、8つの講座に分かれて大勢の方に参加していただき、楽しく触れ合うことができました。



日本ウェルネス高等学校
信州筑北キャンパスの竣工式・
内覧会が行われました

坂井っ子応援団」パート2
坂井小学校

昨年から地域の方に指導していただいている3年生「坂井っ子太鼓」が、夏まつりオープニングを飾るとい大役をいただいで演奏しました。今まで室内でしか演奏してなかったのが、外の響きにやや戸惑いましたが、なんとか、無事演奏することができました。

「坂井っ子応援団」パート2
坂井小学校

して応援していただき本当に感謝です。ありがとうございました。

筑北村 公民館報

第59号

平成27年9月18日発行

〒399-7711
長野県東筑摩郡筑北村坂井 5687-2
電話 0263-67-1161
FAX 0263-67-2170
ホームページ
<http://www.vill.chikuhoku.lg.jp>

信州型コミュニティスクールの活動

東筑摩郡塩尻PTA研修会

8月29日の筑北小学校にて、日頃から頑張っている東筑摩郡と塩尻市のPTA会員が集合して、講演会を開催、分科会に分かれてのジェシカッション等の研修会を行いました。

筑北小学校紹介発表をエキシビジョンとして行なわれました。



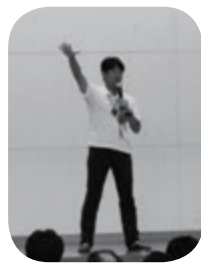
児童会による学校紹介



筑北小学校の地域溢れる校友歌を熱唱

そして、筑北小5、6年生による校友歌が、多くの人の前で披露しました。歌い終わった後に、手に持っている地元で育ったひまわりを会場にいる方へ渡して、筑北小学校のPRが終わりました。

講演会は、「心で向き合う子育学」～感動とは動いた人だけが感じるもの～と評して、プロコーチ&プロファシリテーターの筒井正浩先生に講演して頂きました。



熱き語りを頂きました

講演会が終わり、会場にお集まりなられた方へ、筑北小学校PTA役員さんから地元で育ったひまわりを、渡しました。



愛情たっぷりの贈り物

最後に5つの分科会に分かれて、各提案者によるPTA活動を絡めたテーマに添って、意見交換にて、この研修会が終わりました。

坂井小分科会

後半の分科会では坂井小学校の日向会長が「綱引きじゃんけんぼん大会」について発表をしました。

PTA親睦会のイベントとして年齢や、体力で差が生じないように綱引きと、じゃんけんの点数の合計により勝敗が決まります。たとえ綱引きで負けても、じゃんけんで逆転勝ちする場合もあります。じゃんけんでは低学年から大人まで試合に参加して楽しむことができます。先生方・保護者・児童が一同に会して参加することで、一体感が生まれ親睦を深めることができました。また、保護者の参加率もとても良く学校との絆の深さを再認識することができました。今後の課題は児童数の減少にともない、PTA会員も減少し、会員の負担も増えています。本年信州型コミュニティスクールの「坂井っ子応援団」が発足しました。保護者だけでなく、地域や、教育関係者、多くの方々にお力添えをいただき、PTA活動を継続していったらと願っています。小規模校が増えてきているので、参考になる良い発表でした。

自然の中での学校活動 みどりの少年団交流月

7月31日の夏休みに、筑北小学校の5年生が参加しました「平成27年度松本（中信）地区みどりの少年団交流」が塩尻市・県林業総合センター内まつかさ広場で行なわれました。

各小学校のみどりの少年団が一堂に会し、緑あふれる自然の中で交流・相互の理解と連携を深める目的で活動しました。



プランター作りに励む5年生

来年度は長野県で植樹祭が開催されるため、花壇のプランターの木工工作に、頑張っていました。

「新筑北村図書館」を整備し 生涯学習の拠点とします

教育委員会では新たな生涯学習の拠点として、現在の図書館（旧坂北郵便局）を含め整備を検討してきましたが、庁舎統合による坂北支所（庁舎）の空きスペースを活用することにより、多くの方が図書館を利用し学び、交流を図っていただくため、支所に併設した新たな図書館を整備することにしました。

図書館機能の充実と、世代を超え誰もが気軽に立ち寄り、集い、憩えるようオープンテラスも設置し、館内は各テーマコーナーと村内サークルの皆さんの成果が展示でき、情報を発信できるスペースも確保することにいたしました。

図書館工事は年内から始め翌年3月の完了を予定しています。今後の運営は、識見者による図書館協議会、関係機関等で検討を行っていますが、村民の皆様でご意見等ありましたら、教育委員会事務局へお申し出ください。

新図書館模型図



- 【1階】
レファレンス（調査・相談）
閲覧コーナー
幼児コーナー
カフェコーナー
- 【2階】
学習コーナー
読み聞かせコーナー
多目的（映像鑑賞他）コーナー
歴史文化等のテーマコーナー
研修・交流コーナー

心の伝言板 ③⑧

村役人の心得

封建制度が行われていた江戸時代。村の仕組みが出来上がった寛政三年五月、村役人の心得が幕府より出されました。

村役人とは、郡代や代官の下に置かれた、百姓代、組頭、名主の事を言います。村役人は

- ①世襲
- ②村人からの推薦
- ③郡代、代官からの任命
- ④入札（投票）

の四つの方法で選出されました。

江戸時代という「上意下達」で物事が決まっていたという感があります。人望のある人物が村人の推薦や投票によって選ばれることがあったということです。

《村役人の心得》

- 一、村の者と子の心とく憐れむこと。その村に心得悪しき者あらば、よく教え諭すべきこと
- 一、村の田圃を見回して、宜しくない田圃があったならば、急度申しつけること
- 一、困窮の百姓なき様いたすこと
- 一、年貢取立の儀、明白にいたすべしこと



（シュウカイドウ）

村役人は、村人の一人ひとり安心して安全に暮らせるようにいつも気を配っていくことが大切であると教えています。

また、地域を回り、自分の目で現状を見ることの大切さや、何かあったらすぐに連絡をするなどの大切さも教えています。

これらは、民主主義の現代においても絶対忘れてはいけない行動指針ですが、人権尊重の考え方が、封建時代に幕府より出されていたということに心底驚かされます。

ホットスポットちくほく 頑張った！泣いた！笑った！ 筑中生

中体連スポーツ大会

中体連の塩筑大会では、野球部は残念ながら敗退。中信大会に進んだ女子バレー部・男子剣道部団体でしたが惜しくも敗退。剣道の個人戦では、坂井地域の後藤大徹君・山田雅也君が県大会に出場しました。初戦敗退となってしまいましたが、気合のこもった試合でした。

陸上大会では、中信陸上大会を突破した坂井地域の宮川蓮君が走り幅跳びで県大会に出場し、6mを飛び8位入賞を勝ち取りました。



メンバーへの信頼と諦めずにボールを追う姿に笑顔！



3年生が3人のチームで成長へと導きました。



塩地区大会では準優勝！笑顔いっぱい！！



皆の期待を背にしての大ジャンプ！！

試合直前の選手たち
緊張感が伝わってきます！！



その中でバスケット部は昨年の人戦に続き連続で、県大会への出場を決めました。

男子バスケットボール部
県大会へ！

し切って健闘してきました。

惜しくも、野球部とバレー部

は次へ駒を進めることはできませんでしたが、皆自分の力を出

し切って健闘してきました。

すべてが地区予選突破という快

挙を成し遂げました。

惜しくも、野球部とバレー部

は次へ駒を進めることはできませんでしたが、皆自分の力を出

し切って健闘してきました。

すべてが地区予選突破という快

挙を成し遂げました。

惜しくも、野球部とバレー部

は次へ駒を進めることはできませんでしたが、皆自分の力を出

し切って健闘してきました。

すべてが地区予選突破という快

挙を成し遂げました。

好成绩収める！！

聖南中 総合体育大会にて



魅せる！！
どっこい魂

県大会は7月18、19日に行われ、聖南中の対戦相手は東信地区1位の上田第一中学校でした。第一ピリオドは緊張のためか動きが硬く9対29と差をつけられてしまいましたが、第2ピリオド5対8、第3ピリオドでは13対8と本来の動きが戻ってきました。逆転にかける選手たちの必死の最終ピリオド。あと一歩力及ばず13対18で、残念ながら結果40対63で二回戦へ進むことはできませんでした。しかし諦めずに食い下がり、どっこい魂を見せてくれました。この経験を糧にしてこれからも更なる活躍を祈ります。



聖南中吹奏楽部東海大会B編成の部出場

昭和45年の創部以来初の
大きく輝いた仲間たち！

今年の吹奏楽部（部員18名）は凄く盛り上がりつつあります。第55回長野県吹奏楽コンクール中学B編成の部にて、県代表として、東海大会へ出場を決めた次の日は、練習に熱を入れて、頑張っている姿がありました。東海大会では、全国的にレベルが高い各学校の演奏の中で、1、3年生部員全員の少人数でも迫力・堂々たる演奏が、会場内の反響が良かったと思います。



練習に夢中になる若き部員

この快挙の裏では、日々の練習成果また、昨年度卒業した吹奏楽部員の築き上げた土台と、顧問・吉田智樹講師の良き指導にて花が開いたと感じます。
♪コンクールの結果♪
7月19日…キッセイ文化ホール
中信大会・金賞
8月8日…長野県伊那文化会館
県大会・金賞
同時に東海大会県代表3校の内の1校に選ばれました。
8月30日…愛知県幸田町民会館
東海大会・銀賞



東海大会演奏終えての皆の笑顔（^ω^）

筑中吹奏楽部A編成の部県大会出場大健闘

筑北中学の吹奏楽部は、中信大会26校出場の中から金賞を獲得し、県大会25校出場へと進みました。

A編成の部の中では1番人数が少ない学校ではありましたが、演奏は迫力があり、けして他校にも聴き劣りしない堂々としたものでした。

結果は銀賞ではありましたが、26校中10位となる成績を修めることができました。



10メモ

東海吹奏楽連盟においてA編成B編成が設けられており、A編成は50名以下で、2・3年生の部員が20名以上はA編成に出場。課題曲と自由曲を演奏。B編成は30名以下。自由曲を演奏。



7月4日やすらぎスポーツ広場野外音楽堂で「野外音楽祭」が開催されました。
 今年は「四阿屋こだま太鼓」「刈谷沢雑草の会」「坂井童謡を楽しむ会」「筑北尺八同好会」「坂北童謡を楽しむ会」の5グループが開放された野外で日頃の練習の成果を発表しました。
 心配された雨も止んで、観客が歌を口ずさむ姿も見られ、発表者と観客とが一体となった楽しいイベントとなりました。

野外音楽祭



坂北地域分館対抗野球大会

今年で69回目を迎えた坂北地域分館対抗野球大会が8月15日やすらぎスポーツ広場野球場で開催されました。

朝からの暑い日差しのもと、参戦した6分館が真紅の優勝旗をかけ、熱いプレーを繰り広げました。



暑い中大勢の観客が地元チームを応援します



歓喜にわく中村分館ナイン

試合結果は次のとおりです。

優勝	中村分館
準優勝	青柳分館
第3位	仁熊分館
	昭和町分館

子ども会 夏休み子ども人権学習会

公民館では夏休みに入ったばかりの7月30日と8月3日の2回に分けて子ども人権学習会を開催しました。

今年は生涯学習ボランティアの皆さんに「したきりすずめ」と「あひるのおうさま」の紙芝居を読み聞かせていただき、終わった後は子ども達が感想等を発表し合いました。

低学年の子ども達はボランティアの皆さんの迫力ある読み聞かせに引き込まれた様子で「楽しかった」などの感想が多く聞かれました。

また高学年の子どもからは「いい勉強会ができた」



本城地域分館対抗球技大会

9月6日(日)に大会が行われました。

『ソフトボールの部』



あいにくの曇り空で雨予報。第3試合途中で雨が降り出し、ノーゲームになりましたが、皆さん和気あいあいと試合を楽しみました。

『ソフトバレーボールの部』

10チームが参加し、どの試合も接戦で体育館は熱気に包まれていました。試合結果は次の通りです。

優勝…田屋
 準優勝…八木
 第3位…乱橋

昨年準優勝のリベンジを果たし
 疲れたけどうれいです！



た」との感想もきかれ、幅広い学年の子が一緒に人権の話し合いをする機会を大切にしていきたいと思っています。



子ども会 育成会リーダーキャンプ

夏真っ盛りの8月5日・6日やすらぎスポーツ広場キャンプ場で育成会リーダーキャンプが行われました。

参加した筑北小と坂井小の5・6年生21名は、最初は緊張ぎみでしたが、アイスブレイキング後はすぐに打ち解けた様子でした。



みんなでカレーを作りました

坂井地域分館対抗ソフトボール大会

9月6日(日)に坂井グラウンドにて分館対抗ソフトボール大会が開催されました。

参加は4チームで、永井中村のユーモアある選手宣言で始まり下安坂Aチーム対中安坂チームの試合が始まりホームランや好プレーが続出するほど白熱した対戦が繰り広げられました。



真剣にプレーをする選手

決勝戦は中安坂チーム対上永井チームで、雨の中大接戦の末7対6で中安坂が優勝を収め、大会は盛り上がり終了しました。

食事の後のキャンプファイヤーではダンスや歌を楽しみ、翌日のグラウンドゴルフでは初体験の子どもたちも大人顔負けのスコアでプレーする子もいました。

火の神様からもらった火で点火
 燃えろよ燃えろ



子どもたちは育成会役員の皆さんや花岡公民館長、一條社会教育指導員から、リーダーとしての役割や、みんなで楽しくキャンプするにはどうしたらいいか教えてもらい、仲間との交流を楽しみました。

ホットスポット 58号の
 訂正とお詫び
 25P「ようこそ筑北村へ」の記事の中で4段目12行目の「四阿屋太鼓」を「四阿屋こだま太鼓」に訂正させていただきます。

館報編集後記

暑い暑いと言いつつも、お盆を過ぎると朝晩はめっきり涼しい風がふいて秋めくのは、やはり長野ならではだと思います。

今回の館報は、長年の希望であった表紙の構成が変わり、記事にも戦争体験の特集を載せることが出来ました。村民皆様からはどのように思われたでしょうか？これからも、情報部員一丸になって様々な事に取り組みたいと思っています。

さて、今回の戦争体験の記事にもあるように戦後70年を迎えました。世の中は、集団的自衛権の問題や憲法改正問題が起っています。

母親の立場からすると、子供を戦場に送り出し殺人者にしてしまったとしたら、今まで育て来た全てを否定しないといけなくなる気がします。大義と小義…とても難しい問題です。

戦争体験者の方の話の中からは、戦争の惨めさや悲惨さの声しか聞こえて来ません。戦後70年という時間は過ぎました。でも、日本は本当の意味で戦争処理が正しく行われているかと疑問を感じます。大義の傘を着せて行う戦争など決して起こらないことを願うばかりです。

若葉

地域で活動されている読み聞かせグループの紹介

おはなしさくらんぼ（坂井地区）

- ①代表者名：山田和代さん
- ②発足年月：平成 26 年 11 月
- ③活動人数：現在 9 名
- ④発足のきっかけ：昨年の 9 月に「おはなしポケット」の森山さん、生涯学習課の一條さんから声をかけられて始めました。当時は 5 人でしたが、今では 9 人で活動しています。
- ⑤活動内容：坂井小学校での読み聞かせを月に 1 度実施。今後は福祉施設などの訪問も考えています。
- ⑥グループの名前の由来：「さくらんぼ」の名前がかわいらしく、そのさくらんぼの様に仲良くつながり、一緒に活動していきたいという気持ちを込めて名付けました。



〈坂井児童館でのお話の会〉



お知らせ

坂井図書室のご利用について

庁舎統合により、坂井公民館にありました教育委員会・生涯学習課が坂井支所に移転になり、坂井公民館図書室が無人になりました。そこで、月に 2 回、第 2・第 4 金曜は図書館を開館し、利用できるようにしました。ご不便をおかけしますが、ご利用お待ちしております。

坂井公民館 図書室	開館日	開館時間	問い合わせ 生涯学習課
	第 2・第 4 金曜日	13:00～17:00	67-2064

古本市

坂北体育館で開催される文化祭（10 月 30 日～11 月 1 日まで）で、一般書・コミックス等の古本を無料で差し上げます。今回は本城小学校の廃棄本も多く出ています。読書の秋にぜひご利用ください。

11 月読書月間

- ☆おはなし会 本城、坂北、坂井の 3 地区で行う予定です。
- ☆スタンプラリー 読書月間中、筑北村図書館・本城図書館にて行います。詳細は追ってお知らせいたします。

※本年度の雑誌リサイクルは都合により行いません。ご了承ください。

筑北村図書館だより

もりの子お話の会主催「夏休みスペシャル！」8 月 7 日（金）に開催しました。



ペープサート・読み聞かせでは、ユーモラスなお化け達がいっぱい出てきました。工作では、みんなうちわに自由に色をぬったりして、楽しいお話し会でした。

本と遊ぼう！

全国訪問おはなし隊 がやってくる！



夢あふれるキャラバンカーにたくさんの絵本を載せて、全国 47 都道府県におはなしを届ける講談社 90 周年記念事業「本とあそぼう 全国訪問おはなし隊」をご存じですか？このキャラバンカーは 1 ヶ月単位で巡回し、月間およそ 50 の幼稚園、保育所、小学校や図書館、書店などを訪問してくれます。

この 10 月にそのキャラバンカーが長野県を巡回し、筑北村にも訪問してくれることになりました。

- 日 時：10 月 16 日（金） 午後 15：00～16：00
- 会 場：坂北体育館
- 対 象：未就園の親子のみなさん（おおむね 1 歳半以上）
筑北ひまわり保育園年中・年長組のおともだち
- 内 容：坂北体育館内でのおはなし会（紙芝居と絵本の読み聞かせ）と
車内積載の絵本の閲覧を 30 分ずつ交互に見ることができます。
- 問い合わせ：筑北村図書館（66-1115）

☆みんなでキャラバンカーを見に行こう！



子育て支援センターだより

☎ 22-66-2975

センターをよく利用していただいている方々の紹介！

～爽やか秋風～

9月は夏の疲れが出やすい季節です。また、朝夕の気温差による体の冷えから、おなかをこわしたり発熱したりする子どももいます。「なんだかいつもと違うかな？」という、ちょっとした変化に目を向け、悪化しないようにしましょう。

今年の十五夜は、9月27日です。おだんごを作り、お月見をしましょう。秋の虫たちの声も聞こえてくるでしょうね。

猿橋 聖子さん なおちゃん 凜空くん

「はい。」とお返事がとても上手に出来るなおちゃん。センターでは「ブランコだ～いすき！滑り台だ～いすき！」とニコリ笑顔であそんでいます。外遊びも大好きで砂場でままごとをして、お友だちにご馳走をしています。

おじいちゃんや大ばあちゃんの事が大好きで、一緒にあそんだり散歩に出かけているそうです。

坂口 ひろ子さん あきくん



センターのプールでジョロやケッチャップの空き容器で水鉄砲にして遊ぶのをとても気に入って楽しんでいます。昼食時はランチルームに自分でバックを持っていき、何でもモリモリ食べる、そうくんです。おうちではパパがかくれんぼやオニごっこをしてあそんでくれるのがうれしいようです。



りくくんは、お姉ちゃんのなおちゃんのみねっこをしていっしょになってあそんでいます。「いないいないばあ～」を覚えて「ばあ～」と、いい顔を見せてくれたり「ハッピーバースデー」の歌が大好きで手拍子をしたり口ウソクを消す真似をしてたのしんでいるそうです。

10月、11月の行事予定 ＜時間正確に集合してください＞

10月

日	内容
1日(木)	どんぐりくらぶ
5日(月)	リラックスヨガ (10月～3月麻績村保健センター)
9日(金)	運動あそび
15日(木)	保育園開放日 (筑北ひまわり)
20日(火)	おさがり会
22日(木)	誕生会 (ゲストを招いて)
26日(月)	ベビーマッサージ
29日(木)	ハロウィン

11月

日	内容
5日(木)	どんぐりくらぶ
10日(火)	キッズピクス
12日(木)	ファーストブック
16日(月)	ベビーマッサージ
19日(木)	保育園であそぼう (筑北ひまわり、坂井)
30日(月)	リラックスヨガ



※詳しくは「にじいろカレンダー」をご確認ください。
・平日11時から読み聞かせ等おこなっています。

あそびに 来る方へ

＜センターへの持ち物＞

飲み物(水かお茶)、おむつ、おしり拭き、着替え、お手ふき、ティッシュ、ごみ袋など各自必要な物
※行事へは、サポートノート、筆記用具をお持ちください。

子育ての心配を誰かに相談したい、話を聞いてほしいなど、お悩み等がありましたらいつでも遠慮なくご相談ください。



子育て支援センター ベビーマッサージ体験

筑北中学校の3年生52人は4月～11か月の乳幼児たちとベビーマッサージ体験をしました。大町市のSANBAの会(助産師・保育士・看護師を含む13人のメンバー)の太田二三子助産師から赤ちゃんの抱き方を人形で実践してから交流しました。



笑顔があふれています

太田助産師の講義を聴いて『触れ合いの原点はお母さんのお腹の中からスタート』例えば聴覚は24週頃から音を聞き分けることができる。『赤ちゃんの体と心は肌(皮膚)にある』『赤ちゃんも大人もスキンシップは大事です』将来健全な妊娠・出産・子育てをするには健全な心と体、人を愛する心と思いやる

気持ち大切と話されていた。



赤ちゃん抱っこしました

生徒の感想「赤ちゃんに触れて自分が不安になったが、笑顔で話しかけると、笑ってくれて良かった」「ベビーマッサージが赤ちゃんにとって大切なこと。」



宮崎助産師から「自分が笑顔になれば相手も笑顔になる。自分のことが出来るようになるには、人間すごく時間がかかる。今も、家族に大事に育てられているというのを忘れないで欲しい」とメッセージを受け、貴重な体験となった一日でした。

坂井児童館

7月5日坂井児童館では、七夕にちなんで、七夕の飾りつけとおはなしくらんの皆さんによる読み聞かせを行いました。読み聞かせは、歯切の良関西弁口調の「てんまのとらやん」と秋田県を題材にした「ひさの星」でした。どちらの本も方言が出て来ます。児童達に地域の方言を知って欲しいという思いを込めて方言の語りに挑戦していました。

読み聞かせの後は、さくらんぼの会のみなさんと一緒に七夕の飾りつけをしました。





平成 27 年 8 月 15 日筑北村成人式が行われました。

式典の後は麻績村と合同祝賀会が開かれました。



今までの 20 年間を振り返ると様々な経験の中で、仲間や友人の大切さ、常に感謝の気持ちを持つこと、そして目標に向かい努力することなど、多くのことを学びました。この自然豊かな筑北村で育ち、たくさんの仲間に出会えたことに感謝し、これからも人との関わりを大切にしていきたいと思います。

- ・保育士を目指して 勉強しています
 - ・県外で栄養士になるために勉強しています
 - ・ホテルの調理場で働いています
 - ・地元で働いています ・ギター作っています
 - ・県内で、朝早い仕事をしています
 - ・諏訪でパソコンの勉強しています
 - ・パティシエの勉強中です ・パン店で働いています
- 夢に向かって奮闘中！ガンバレ！！**

**国政調査の説明
を真剣に聞く…**



デジタル世代！



**野球部、バレー部
共に闘った仲間たち**



私の戦争体験



坂井地域永井中村の玉井安雄さんにお話をお聞きしました。
玉井さんは東部町（東御市）出身で昭和 3 年生まれ、現在 87 歳です。

「昭和 19 年 9 月に 16 歳中等教育学校 5 年生で海軍に志願して、土浦海軍航空隊のパイロット訓練生になりました。試験や検査がありパイロット訓練生になれたのは同級生 7 人中 3 人だけでした。土浦で半年間操縦技術や通信手段の基礎訓練を終えて、近隣の谷田部基地へ行きました。訓練の中でもモリス信号の通信がとても難しく、大変でした。20 年 6 月に土浦航空隊が大規模な空襲をうけ、とても怖かったのを鮮明に覚えています。その後横須賀航空隊へ行き、訓練が続き、9 月には青森航空隊での実戦訓練に参加が決まっていたのですが、8 月に土浦に

筑北村の戦後 70 年

戻ってきたところで終戦をむかえました。訓練だけで実際に飛行機を操縦することはありませんでした。一年早く入隊していた方々は飛行機に乗って戦地へむかい、亡くなった方もいました。

同じ部隊の方々とは毎年「思い出会」を開き集まっていますが、お互い高齢になり集まることができなくなっていました。」

私の息子が今 16 歳で当時の玉井さんと同じ年です。お話を聞き 16 歳で志願して戦争に向かうなんて本当に驚きました。

高校生が戦うような戦争を二度と繰り返してはいけなと思います。

戦争の記憶

田中美和子（旧姓鎌田）
横浜市在住



私の両親は昭和 15 年、西条の観音寺にて結婚式を挙げた。父

（三男）は建築技師として、満州の阜新市（現在の遼寧省・地级市）へ横浜港から出かけた。その頃の満州は天国のようで、日本人町に住み、現地のお手伝いさんや、大型犬・小型犬と暮らしていた。母は（和子）昭和 16 年に私の出産の為に一人で日本に帰り、私を連れ満州へと戻った。

そして昭和 20 年 7 月に父は召集された。「美和子お利口にして、母さんの言うことをよく聞くんだよ。お土産をいっぱい持ってくるからな。」母には「俺が行く様なら日本もおしまいだな」と言いつて戦争に出かけた。そんなある日ロシア兵の出撃、満人の暴動。母は私をつれて近くの小学校に避難した。『日本は負けた』と人々は叫んでいた。母は婦人会長の言葉を信じ、日本には必ず帰れる・子供は宝だと、胸には青酸カリを忍ばせていた。『子どもをくれ』『子供を売ってくれ』。ロシア人に捕まった時は、もうダメだと思いつて、もう私の足をつねった。私が大声で泣き喚いたため、帰れと言われ助かった。母親自慢の家はボロボロで、台所に食べ残していたジャムが美味しかった。

たことを鮮明に覚えている。

奉天（現在の瀋陽市）からコロ島（コロ島から日本人は送還された）は大分遠く、雇い入れていた女中さんの家に助けられ、温かい餃子を振舞われたことや、ペーチカで休んだことが、思い出される。引揚げは大変だった。私は病弱で、赤いコーリヤン飯は口に合わず母は苦労した。とうふを作っては売り歩いた。ある日母は上着を忘れて捕まった。（上着には日本人である腕章と名前がついている）私にその上着を取りに行かせた。（当時 4 才）私は引きずって持ってきた。街中の人々は「好姑娘」（可愛い娘の意）と手を叩いて喜んでくれた。母は酔うと「お前に助けられた」と話していた。

引揚げ船は大勢の人でした。病気でなくなると、木箱に入れ船から海へ捨てた。トイレからは波が見え怖かった。昭和 21 年 6 月舞鶴港へ着いた。やっとの思いで西条駅についたとき、母は盲腸が破裂していて危険な状態であった。何でもでき、大陸的な性格の母は皆から愛された。それから 4 年後、小学校 3 年生の時に、父はシベリア抑留から帰還した。